

## チュートリアル課題 尿に血の色が混じっている

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2012-03-15 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 東京女子医科大学 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10470/29104">http://hdl.handle.net/10470/29104</a>

2008 年度

Block2 テュートリアル課題

課題番号 4

「尿の色に血が混じっている」



この図を複製・転載すると著作権侵害となる場合がありますのでご注意ください。

TWMU Block2

成人医学センター泌尿器科 小林 裕

シート1

文男さんは60歳の男性。2ヶ月前の会社の検診で尿検査異常を指摘され、精密検査が必要とのことでしたが、仕事が忙しく検診の事を忘れていました。友人が入院したことをきっかけに心配になり、大学病院を受診しました。

シート 2

医師「検診で、どんな異常を指摘されましたか？」

文男「尿に血が混じっているといわれました。」

医師「最近何か変わったことはありませんか。目で見ても赤い尿は出ませんか。

また、排尿時に痛んだり、腰が痛かったり、熱が出ることはありませんか？」

文男「痛みはありませんが、最近、たまに尿の色が濃く、茶色や薄いピンク色のことがあります。疲れや、何か食べ物や飲み物でそうなることはありますか？」

医師「そういう場合もありますよ。ところで、タバコは吸われますか？」

まず、尿検査を受けることになりました。」

シート 3

家に帰ると文男さんの妻に聞かれました。

文男妻「あなた、どこか悪いところがあったの？」

文男「病院で尿中の細胞を調べる検査と腹部超音波検査を受けたが、まだどこから出血しているかわからないそうだ。今度、さらに精密検査をすることになった。」

文男妻「心配ね、大丈夫かしら。」

シート 4

1 週間後、文男さんは経静脈的尿路造影と膀胱鏡検査を受けることになりました。

医師「造影剤を使った尿路のレントゲン検査で、左の腎盂に少し影がありますね。膀胱の中はきれいでした。膀胱鏡で見ているとやはり、左の腎臓から少し出血しているようです。出血の原因がはっきりしないので、さらに今度左の腎盂や尿管を映し出す検査をしましょう。」

文男「お願いします。」

シート 5

検査の結果が出るまで文男さんは、心配でなりませんでした。検査の結果を聞きに行く日、文男さんと奥さんは一緒に病院に行きました。

文男「先生、結果はいかがでしたか？」

医師「左腎盂に早期の癌ができています。左の腎盂より採取した尿の中から癌の細胞が見つかりました。出血の原因はそこからだと思います。手術で完治できるものと考えております。」

文男さんは、ショックを受けましたが、妻に励まされ手術を受けることになりました。